

感謝の心をこめて

**Challenge & Smile**



平成26年5月29日

No. 14-103

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

## 愛媛県内民間企業の夏季ボーナス支給見込みアンケート結果のお知らせ

～2年ぶりに増加するも、伸び悩む夏のボーナス～

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称IRC、社長 山崎 正人）では、このたび別紙のとおり、愛媛県内民間企業の夏季ボーナス支給見込みアンケート結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

以上

## 2年ぶりに増加するも、伸び悩む夏のボーナス

### — 2014年夏季 県内民間企業ボーナス支給見込みアンケート結果 —

1. この夏の県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額は前年を0.8%上回る38万1千円となった。
2. 県内民間企業の支給見込み総額は、1人当たり支給額が前年比0.8%増加となったものの、支給対象人員が減少したため、前年比0.1%増の約1,057億円にとどまった。
3. 1人当たり支給見込み額の部門別の前年比増減率をみると、製造業は前年比6.9%増となったものの、非製造業は同0.9%減となり、明暗が分かれる結果となった。

わが国経済は、政府の各種経済対策を受け、緩やかながらも景気回復基調にあり、雇用情勢は着実に改善し、所得環境にも明るい兆しが見えています。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、やや弱い動きも見られます。

一方、県内経済についても、緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、所得環境改善の動きは全国と比べると遅れているようです。

こうしたなか、弊社では、今夏の県内民間企業のボーナス支給動向を把握するため、4月下旬にアンケートを実施しました。この度その結果がまとまりましたので、ご報告します。

調査要領	調査対象	愛媛県内に事業所を置く民間企業	789社	
	調査方法	郵送によるアンケート方式		
	調査時期	2014年4月下旬		
	回答状況	有効回答企業数		320社
		有効回答率		40.6%

1	<b>県内民間企業従業員 1 人当たり支給見込み額</b> ～38 万 1 千円、前年比 0.8%増加～
---	---

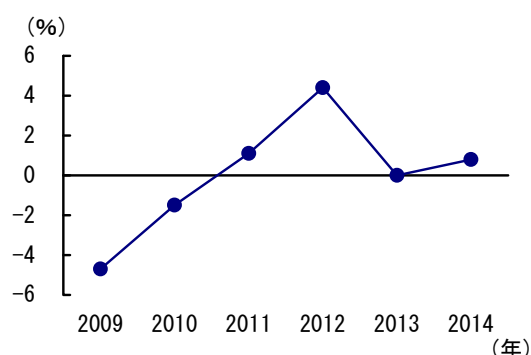
アンケート結果および経済センサスに基づき、県内民間企業の従業員 1 人当たりボーナス支給見込み額（税込み、以下同じ）を推計した結果、**前年比 0.8%増の 38 万 1 千円**となった。

なお、全国の民間企業の従業員 1 人当たりボーナス支給予想額は、三菱UFJリサーチ & コンサルティングでは前年比 1.1%増の 36 万 3 千円、第一生命経済研究所では同 1.6%増の 36 万 5 千円、みずほ総合研究所では同 1.6%増の 36 万 5 千円となっている。

図表－1 県内民間企業夏のボーナス従業員 1 人当たり支給額前年比増減率の推移  
 （アンケート回答企業、修正後）

(単位：%)

年	2009	2010	2011	2012	2013	2014
前年比	▲ 4.7	▲ 1.5	1.1	4.4	0.0	0.8



2	<b>県内民間企業の支給見込み総額</b> ～約 1,057 億円、前年比 0.1%増加～
---	--

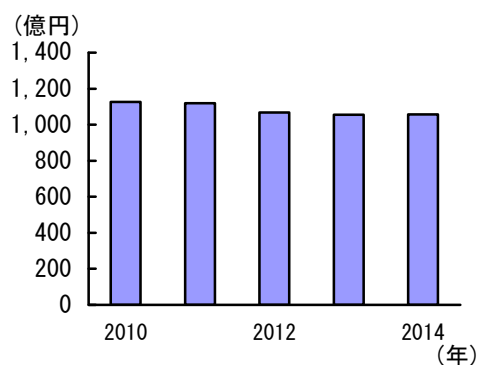
アンケート結果および毎月勤労統計調査等に基づき、県内民間企業のボーナス支給見込み総額を推計すると、1 人当たり支給額は前年比 0.8%増となったものの、支給対象人員が 0.7%減少したため、前年比 0.1%増の約 1,057 億円にとどまった。

図表－2 県内民間企業夏のボーナス支給総額の推移（推計）

(単位：億円、%)

年	2010	2011	2012	2013	2014
支給総額	1,126	1,119	1,068	1,056	1,057
前年比	▲ 4.2	▲ 0.6	▲ 4.6	▲ 1.1	0.1

(注) 2014年は見込み。



## 3

## 部門別・業種別動向

～製造業は増加、非製造業は減少～

県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額（修正後）を部門別にみると、製造業は前年比6.9%増の48万2千円、非製造業は前年比0.9%減の35万8千円となった。

製造業では、「食料品」（前年比9.2%増）、「機械・金属」（同9.1%増）など、6業種が前年を上回った。非製造業では、公共工事や住宅着工が好調だった「建設」（同11.9%増）や企業業績の好転に伴い荷動きが活発であった「運輸」（同2.6%増）など5業種中4業種で前年を上回った。一方で、「サービス」（同0.5%減）はわずかながら前年を下回った。

なお、支給月数は全業種平均で前年比0.01ヵ月増の1.63ヵ月となった。

図表－3 業種別の増減

(従業員1人当たり支給見込み額の増減率)

(単位：%)

増減	製造業		非製造業	
増加	食料品	9.2	建設	11.9
	機械・金属	9.1	運輸	2.6
	化学・石油	6.8	卸売	2.3
	紙・パルプ	5.8	小売	0.6
	木材・木製品	4.0		
	繊維	2.3		
横ばい	印刷	0.0		
減少			サービス	▲ 0.5

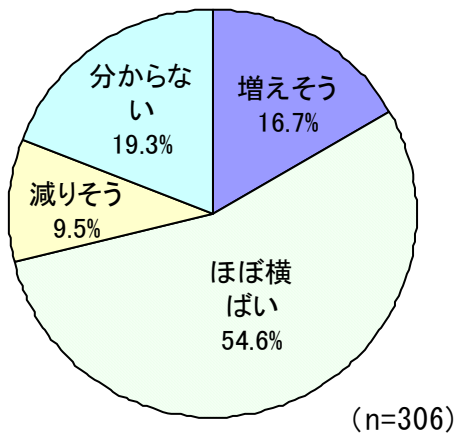
(注) アンケート回答企業、業種別従業員1人当たり支給見込み額等の詳細は図表－5参照。

## 4

## 今冬のボーナス支給見込み額（前年同期比） ～「ほぼ横ばい」が大勢を占める～

2014年冬のボーナス1人当たり支給額の見込みについて尋ねたところ、「ほぼ横ばい」との回答が54.6%と大勢を占めた。また、「分からない」との回答も19.3%となっていることから、先行きに対する不安感や不透明感から慎重な見方をする企業が多いようだ。

図表-4 2014年冬のボーナス  
1人当たり支給額の見込み  
(前年同期比)



### まとめ

以上のように、この夏の県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額は、2年ぶりに前年を上回った。緩やかながらも景気が回復基調にあることや、政府による賃上げのムード作りもあってボーナスを増額する動きがあるが、その額は伸び悩んだ。今後は、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動で、企業の収益環境は再び厳しくなることも予想されるが、反動が早期に収束すれば、冬季ボーナスについても増額が期待される。

図表－５ ２０１４年夏の業種別ボーナス支給見込み額（ＩＲＣアンケート結果より）

(単位：千円、%、カ月、歳)

業種	項目	1人当たり支給額			増減率 対2013年夏	支給月数			平均 年齢
		2013年夏	2013年冬	2014年夏		2013年夏	2013年冬	2014年夏	
製造業	食料品	405	464	442	9.2	1.49	1.73	1.60	36.5
	繊維	251	254	257	2.3	1.18	1.18	1.19	42.5
	木材・木製品	167	198	173	4.0	0.76	0.89	0.76	47.1
	紙・パルプ	404	423	427	5.8	2.25	1.79	1.80	37.8
	印刷	244	239	244	0.0	0.92	0.90	0.91	42.3
	化学・石油	677	724	723	6.8	2.39	2.56	2.55	36.0
	機械・金属	603	563	658	9.1	1.74	1.61	1.45	39.4
	その他製造	378	390	362	▲ 4.4	1.42	1.52	1.44	42.7
	<b>製造業計</b>	<b>451</b>	<b>462</b>	<b>482</b>	<b>6.9</b>	<b>1.87</b>	<b>1.86</b>	<b>1.76</b>	<b>38.1</b>
非製造業	建設	218	258	244	11.9	0.78	0.91	0.89	44.2
	卸売	499	508	510	2.3	1.66	1.70	1.71	41.6
	小売	397	405	399	0.6	1.59	1.61	1.58	38.3
	運輸	302	325	309	2.6	1.11	1.19	1.13	43.6
	サービス	345	386	343	▲ 0.5	1.20	1.33	1.97	39.0
	<b>非製造業計</b>	<b>361</b>	<b>385</b>	<b>358</b>	<b>▲ 0.9</b>	<b>1.32</b>	<b>1.40</b>	<b>1.47</b>	<b>40.6</b>
<b>全産業</b>	<b>378</b>	<b>400</b>	<b>381</b>	<b>0.8</b>	<b>1.62</b>	<b>1.65</b>	<b>1.63</b>	<b>39.2</b>	

- (注) 1. 1人当たり支給額は税込み支給額を平均した。  
 2. 太字は従業員数の業種別構成実態に合わせて加重平均により修正を行った。